

## 第 58 回中国・四国中学校長研究会広島大会の御案内（第二次）

早春の候、会員の皆様にはますます御健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、第 58 回中国・四国中学校長研究会広島大会を、本年 6 月、広島市において開催することとなりました。現在、中国・四国各県から御参加いただく皆様の御協力を得ながら、実り多い大会となるよう準備を進めております。

つきましては、会員の皆様に多数御参加いただきますよう御案内とお願いを申し上げます。

令和 6 年（2024 年）3 月

第 58 回中国・四国中学校長研究会広島大会会長  
広島県公立中学校長会会長 藤田 典生

### 第 58 回中国・四国中学校長研究会広島大会 開催要項

- 1 大会主題 「新たな時代を切り拓き、よりよい社会を形成していく日本人を育てる中学校教育」
- 2 主題解説

今の子供たちやこれから誕生する子供たちが成人して社会で活躍する頃には、我が国は新たな局面を迎えていると予想される。人口減少や高齢化、デジタルトランスフォーメーション、グローバル化や多極化、地球環境問題など変動性や不確実性、複雑性、曖昧性の時代であり、先行き不透明で将来の予測が困難な未来となっている。また、急激な少子高齢化が進む中で成熟社会を迎えた我が国にあっては、一人一人が持続可能な社会の担い手として、その多様性を原動力とし、質的な豊かさを伴った個人と社会の成長につながる新たな価値を生み出していくことが必要である。そうした中、我が国は、IoT（Internet of Things）や人工知能（AI）で全ての人とモノがつながり、様々な知識や情報が共有され、必要な情報が必要なときに提供されるような超スマート社会（Society5.0）の仕組みづくりに挑み始めている。さらに、令和 2 年に発生した新型コロナウイルス感染症の世界的な流行は、社会秩序や人々の生活等を一変させるような事態と子供たちが常に隣り合わせにあることを実証することとなった。この先にある時代を担う子供たちには、様々な変化に主体的に向き合うとともに我が国の伝統や文化に立脚し、高い志や意欲をもつ自立した日本人として、他者と協働しながら価値の創造に挑み、よりよい社会を形成していく力を身に付け、望む未来を私たち自身で示し、作り上げていくことが求められる時代となっている。

令和 3 年度から全面実施となった学習指導要領では、「社会に開かれた教育課程」の理念の下、これまでの我が国の学校教育の実践や蓄積を生かし、子供たちが未来社会を切り拓くための資質・能力を一層確実に育成することを目指して、確かな学力の育成や道徳教育の充実、体験活動の重視、豊かな心や健やかな体の育成を改訂の基本的な考え方としている。そのことを踏まえて各学校において、生徒や学校、地域の実態を適切に把握し、教育の目的や目標の実現に必要な教育の内容等を教科等横断的な視点で組み立てていくこと、教育課程の実施状況を評価してその改善を図っていくこと、教育課程の実施に必要な人的又は物的な体制を確保するとともに、その改善を図っていくことなどを通して、教育課程に基づき組織的かつ計画的に各学校の教育活動の質の向上を図っていく「カリキュラム・マネジメント」に努めるものとしている。また子供たちが、学習内容を人生や社会の在り方と結び付けて深く理解し、これからの時代に求められる資質・能力を身に付け、生涯にわたって能動的に学び続けることができるようにするために、我が国の優れた教育実践に見られる普遍的な視点である「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進することが求められるとしている。

一方、中学校教育の現状を見ると、いじめの問題をはじめ、暴力行為、パソコンやスマートフォン等を利用した問題行動、規範意識や社会性の未成熟、学習意欲の低下など、様々な課題が指摘されている。これらの課題の解決を図るとともに、自殺の防止や不登校生徒への支援等に取り組み、子供たちの命や安全を守るためにも、教職員の力だけでなく、家庭や地域の教育力を生かしたり関係機関との連携を図ったりしていくことが必要である。そのために、学校は従来から閉鎖的と言われる体質から抜け出し、「地域とともにある学校」に転換していくことが求められている。

中央教育審議会の「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して ～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（答申）」では、社会の変化が加速度を増し、複雑で予測困難となってきている中、子供たちの資質・能力を確実に育成するためには、学習指導要領を着実に実施していくことが重要であるとしている。その上で、2020 年代を通じて実現を目指す新しい時代を見据えた学校教育を「令和の日本型学校教育」とし、「個に応

じた指導」を学習者の視点から整理した概念である「個別最適な学び」と、これまでも「日本型学校教育」において重視されてきた「協働的な学び」とを一体的に充実することを目指すとしている。その実現のためには、これまでの学校教育が担ってきた、学習機会と学力を保障するという役割、全人的な発達・成長を保障する役割、人と安全・安心につながるることができる居場所としての福祉的な役割を継承しつつ、学校教育を社会に開かれたものとしていくこと、学校教育を支える全ての関係者が、それぞれの役割を果たし、互いにしっかりと連携することで必要な改革を進めていくことが期待されている。また、教師の勤務時間管理の徹底や学校及び教師が担う業務の明確化・適正化、教職員定数の改善充実、専門スタッフや外部人材の配置拡充などの学校における働き方改革を強力に推進すること、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に資するよう、これまでの実践と ICT とを最適に組み合わせることで、学校教育における様々な課題を解決し、教育の質の向上につなげられるようにすることも期待されている。

中国・四国各県中学校長会は、全日中新教育ビジョンの趣旨を踏まえ、学校における働き方改革を含めた新たな教育課題に対しても果敢に挑戦し、校長相互の資質向上と目的を明確にした研究を推進することにより、学校経営の更なる充実と学校からの教育改革を進めていかなければならない。そこで、令和6年度第58回中国・四国中学校長研究会広島大会において、「新たな時代を切り拓き、よりよい社会を形成していく日本人を育てる中学校教育」を大会主題として研究を深め、我が国の中学校教育の向上に資するとともに、広く国民の負託に応えたい。

- 3 主 催 中国・四国中学校長協会 広島県公立中学校長会  
 4 後 援 全日本中学校長会 広島県教育委員会 広島市教育委員会 呉市教育委員会  
 5 期 日 令和6年6月19日(水)、20日(木)、21日(金)  
 6 日 程

第一日	19日(水)	13:30 14:00				16:30 18:00			
		受付	大会運営委員会 中四連絡協議会			レセプション			
第二日	20日(木)	9:15 10:00		10:40 11:00		12:00 13:20		16:20 16:30	
		受付	開会式	休憩	全体会 I 文部科学省説明	昼食	分科会	諸連絡	
第三日	21日(金)	8:30 9:00		9:40 10:00		11:30 11:50			
		受付	全体会 II 分科会報告 大会宣言	休憩	記念講演	閉会式			

## 7 会 場

広島国際会議場 (〒730-0811 広島市中区中島町 1-5 TEL:082-242-7777)  
 広島市文化交流会館 (〒730-0812 広島市中区加古町 3-3 TEL:082-243-8881)  
 ANAクラウンプラザホテル広島 (〒730-0037 広島市中区中町 7-20 TEL:082-241-1111)

期日	会 名	会 場
19日(水)	大会運営委員会、中四連絡協議会	広島市文化交流会館 3F 銀河
	全体会・分科会 運営打合せ会	広島国際会議場 B2F コスモス ラン1・2
	レセプション	ANAクラウンプラザホテル広島 3F アカシア
20日(木)	開会式、全体会 I	広島国際会議場 B2F フェニックスホール
	第1分科会	広島国際会議場 B2F フェニックスホール
	第2分科会	広島国際会議場 B2F ヒマワリ
	第3分科会	広島国際会議場 B2F ダリア
	第4分科会	広島国際会議場 B2F コスモス
21日(金)	全体会 II、記念講演、閉会式	広島国際会議場 B2F フェニックスホール

9 分科会

分科会	協議題	提案者	司会者	総括
1	A 「カリキュラム・マネジメント」の推進	徳島県 阿波市立阿波中学校 村岡 文英	徳島県 (調整中)	島根県 (調整中)
	B 「主体的・対話的で深い学び」の実現	岡山県 岡山市立岡北中学校 森安 史彦	岡山県 岡山市立灘崎中学校 田中 和之	山口県 光市立光井中学校 小林 久美子
2	A よりよく生きようとする 意思や能力を育む道德教育の充実	愛媛県 新居浜市立泉川中学校 久保 善嗣	愛媛県 新居浜市立大生院中学校 守谷 憲二	徳島県 藍住町立藍住中学校 西山 伸二
	B 健康で安全な生活と豊かなスポーツライフを実現するための教育の充実	島根県 飯南町立赤来中学校 吉谷 不美男	島根県 飯南町立頓原中学校 足立 紀佳	岡山県 倉敷市立下津井中学校 赤崎 哲也
3	A 社会的・職業的自立に向けたキャリア教育と進路指導の充実	鳥取県 鳥取市立東中学校 三橋 正文	鳥取県 鳥取市立南中学校 鈴木 勇喜雄	香川県 (調整中)
	B 自他を敬愛し他者と協働しながら自己実現を図るための自己指導能力を育成する生徒指導の充実	高知県 仁淀川町立仁淀中学校 三谷 裕之	高知県 いの町立伊野南中学校 土居 直也	愛媛県 新居浜市立東中学校 山本 基二
4	A 「令和の日本型学校教育」を担う教師の育成	香川県 高松市立庵治中学校 北堀 宏	香川県 東かがわ市立大川中学校 藪根 賢次	高知県 香南市立赤岡中学校 谷口 泰徳
	B 学校と地域の連携・協働による「チーム学校」と「働き方改革」の実現	山口県 山陽小野田市立竜王中学校 山本 敦士	山口県 山陽小野田市立小野田中学校 安田 尚弘	鳥取県 湯梨浜町立湯梨浜中学校 梅原 憲和
全体会Ⅱ	議長：広島県（2名）	分科会報告：各分科会の司会者		

- 10 記念講演 演題(仮題)「はやぶさ2の奇跡～挑戦を支えた組織マネジメントとチーム作り～」  
講師 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）  
宇宙科学研究所 教授 津田 雄一 様

- 11 参加予定者数 ○：提案者 △：司会者 ◎：総括

県名	予定人数	第1分科会	第2分科会	第3分科会	第4分科会
鳥取	57	18	13	A○△ 15	B◎ 11
島根	90	A◎ 28	B○△ 21	24	17
岡山	152	B○△ 47	B◎ 35	40	30
山口	140	B◎ 44	33	36	B○△ 27
徳島	78	A○△ 24	A◎ 19	20	15
香川	69	22	16	A◎ 18	A○△ 13
愛媛	123	39	A○△ 29	B◎ 32	23
高知	90	28	21	B○△ 24	A◎ 17
広島	228	69	53	60	46
合計	1027	319	240	269	199

- 別添資料「提案骨子等」を参考にして、参加する分科会を選んでください。
- 各県の割当てに従って、参加者人数を調整してください。
- グループ協議では、重点的に協議する提案（AもしくはB）を、予め決めさせていただきます。

- 12 大会参加費          7,000 円 (弁当代を含む。)
- 13 宿 泊                (株) J T B 広島支店に業務を委託しております。(TEL:082-236-3733)
- 14 申 込 要 領

- (1) 参加申込の方法は、各県中学校長会事務局（以下、各県事務局）の指示に従ってください。各県事務局は、「参加者名簿」「大会参加費」を「参加者取りまとめ要領」にしたがって、**令和6年4月23日（火）【締切厳守】**までに所定の提出先へ御提出ください。
  - (2) 参加申込後の欠席は、各県事務局を通して、速やかに大会事務局に御連絡ください。その場合、大会参加費はお返しできませんが、後日、各県事務局に大会誌と報告集録をお届けします。
  - (3) 宿泊の変更・取り消しの手続きについては、速やかに(株) J T B 広島支店に直接お知らせください。(TEL:082-236-3733 FAX:082-240-6030)
- 15 当日の服装          大会参加時の服装は、クールビズ（登壇者は上着着用）といたします。ふだん勤務校でお使いの名札、全日中のバッジを着用してください。
  - 16 会場周辺地図及び会場までのアクセス

